

Dahua製P2Pサービス DDNSサービスからの移行手順書

(1.01版)

2019 年 08 月 07 日



三星ダイヤモンド工業 株式会社

it 事業部

文書番号 : MDI-it-MAN-078

Copyright © 2017–2019 MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD. All Rights Reserved.

— 変更履歴 —

版数	変更日	区分	変更箇所		変更内容
			頁	項番	
1.00	2017/09/04	新規			新規作成
1.01	2019/08/07	全体			セキュリティ強化対応

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

MDI MITSUBOSHI DIAMOND INDUSTRIAL CO., LTD.

— 目次 —

1. 本手順書に関して.....	4
2. P2P サービスについて	5
2.1. 機能概要.....	5
2.2. P2P／DDNS 機能比較	5
2.3. P2P／DDNS 設定手順比較	5
3. P2P サービス登録	6
3.1. レコーダー設定確認.....	6
3.2. P2P 登録：SmartPSS	9
3.3. P2P 登録：DMSS	13

1. 本手順書に関して

- ・ 1.1 本手順書は、現在 Dahua 社 DDNS サービスをご利用されているお客様が SmartPSS や DMSS を利用して P2P サービスへの移行頂くため手順書です。

- ・ 1.2 本手順書では

- ・ SmartPSS バージョン 2.00.1
- ・ DMSS バージョン 3.49.003

での手順を表記しています。

インストールされているバージョンによって、
本手順書と一部異なる画面になる場合があります。

- ・ 1.3 レコーダーによって、本手順書と一部異なる画面や文言になる場合があります。

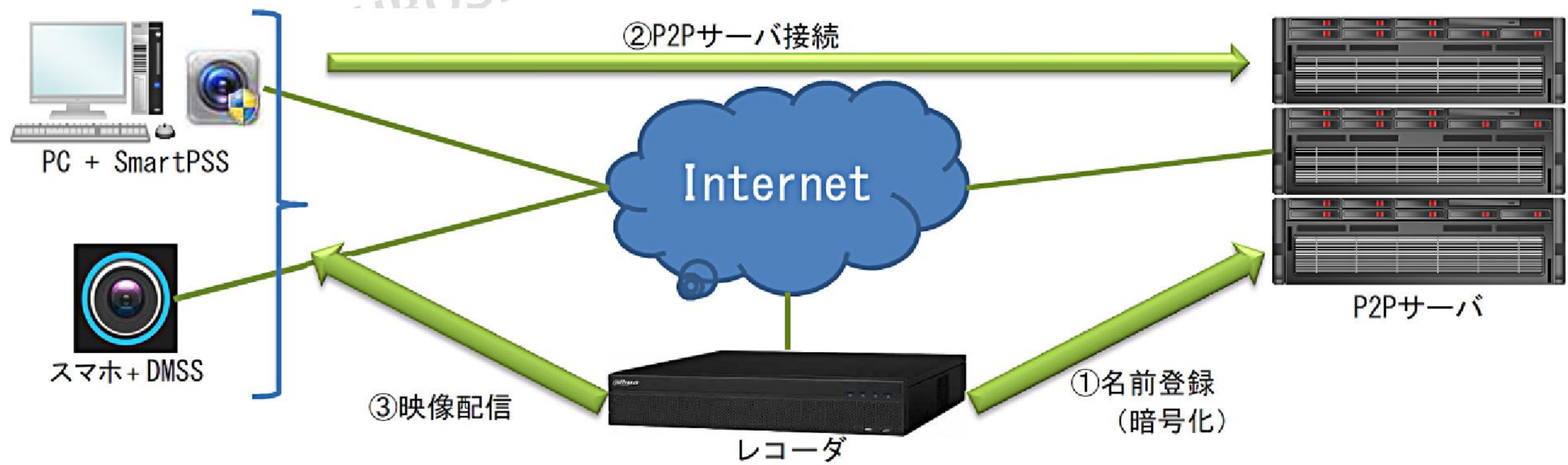
2. P2P サービスについて

2.1. 機能概要

P2P 機能は、リモートサイトからインターネット経由でローカルサイトの映像を参照できる機能です。

＜P2P 機能 通信イメージ＞

- ・ P2P サーバにデバイス情報を登録、リモートサイト側から P2P サーバを経由して映像を取得します。



2.2. P2P／DDNS 機能比較

- ・ No. 5/6 のような特殊な状況を除き、DDNS と P2P で出来る事はほぼ同じです。

No	状況	SmartPSS		DMSS		HTTP-API/RTSP※2.	
		DDNS	P2P	DDNS	P2P	DDNS	P2P
1	DVRの公開（Internetへのポートフォワード）	○	○	○	○	○	×
2	XVRの公開（Internetへのポートフォワード）	○	○	○	○	○	×
3	NVRの公開（Internetへのポートフォワード）	○	○	○	○	○	×
4	CVIカメラの公開（Internetへのポートフォワード） ※1. レコーダ経由で参照可能	×	×	×	×	×	×
5	IPカメラの公開（Internetへのポートフォワード）	○	×	○	×	○	×
6	公開したIPカメラの映像を、別リモートサイトのNVRで録画する	○	×	○	×	—	—

2.3. P2P／DDNS 設定手順比較

- ・ P2P の方が DDNS より簡単に設定が出来ます。

	P2P	DDNS
レコーダーからの設定	○	○
ポートフォワード設定	不要	○

3. P2P サービス登録

3.1. レコーダー設定確認

3.1.1. 直接レコーダーを操作する場合

- ・レコーダーにログイン後、
右クリックでメニューを表示させ、①『メインメニュー』をクリックします。
- ・メインメニューの ②『ネット情報』をクリックします。



- ・①『P2P 設定』をクリックし
②P2P 登録に必要な機器の SN(シリアル番号)が表示されているので
間違いないように記録します。
- ③ “有効” のチェックボックスにチェックが入っていることを確認します。
- ④ “状態” が “P2P 接続成功” になっていることを確認します。



※チェックボックスにチェックが入っていない場合は、チェックを入れ
⑤『適用』をクリックし、④ “状態” が “P2P 接続成功” の表示に
なっていることを確認します。

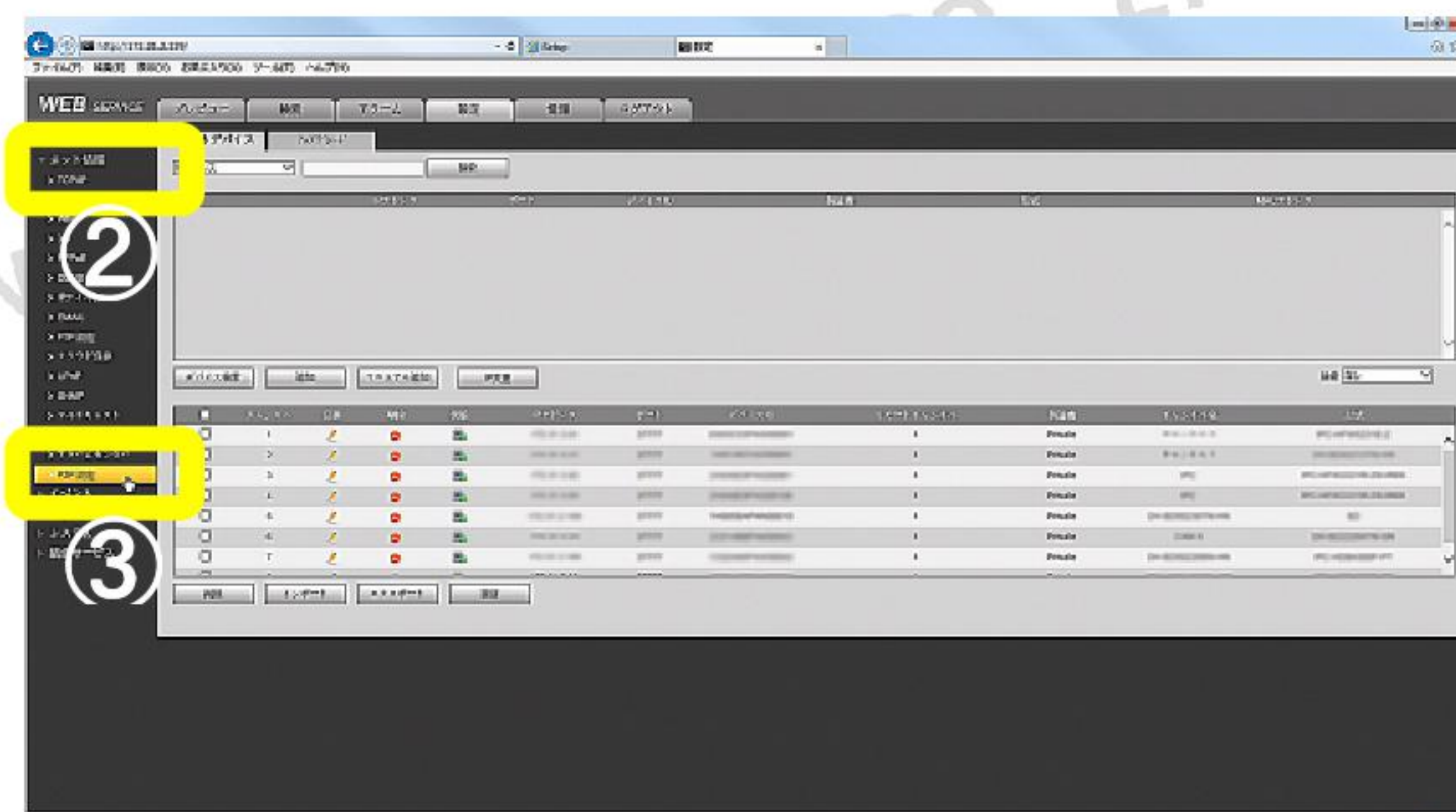
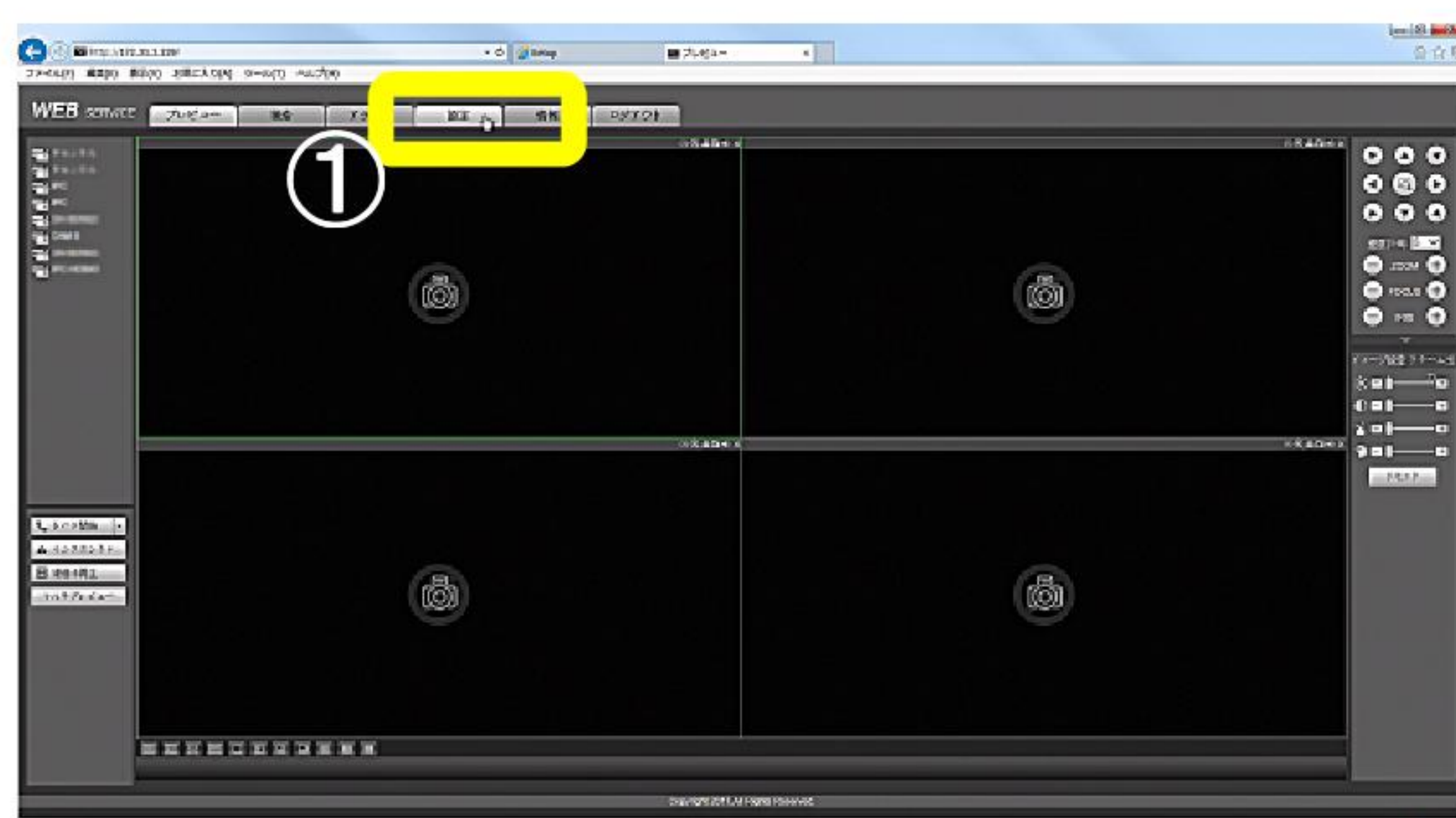
注：“P2P 接続成功” が表示されない場合は

- 1) ネットワーク環境に問題がない確認を行って下さい。
- 2) 少し時間をおいて、再度確認して下さい。

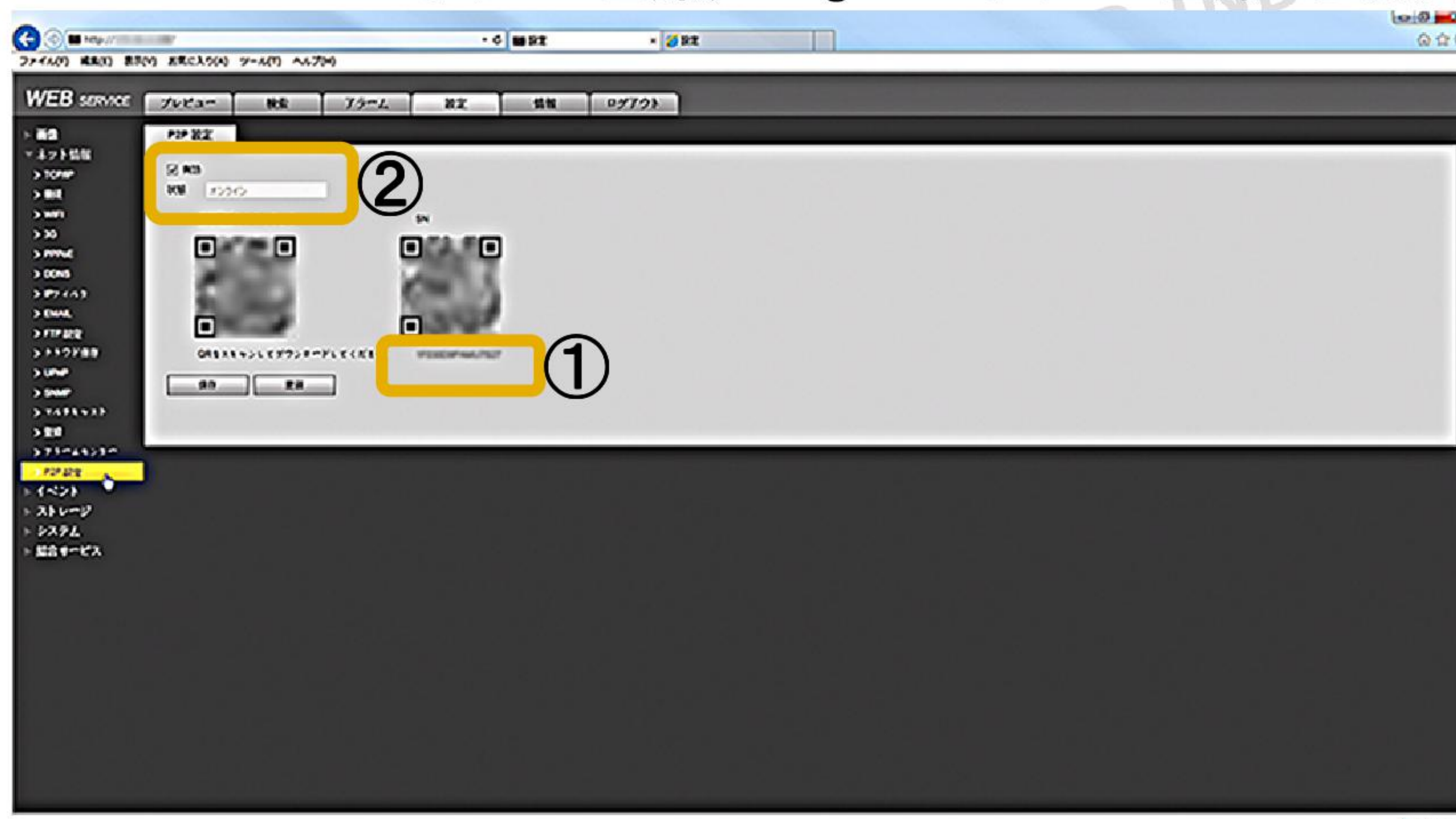
- ・設定の確認が完了したら、⑥『保存』をクリックします。

3.1.2. インターネットエクスプローラー(IE)でレコーダーをリモート操作する場合

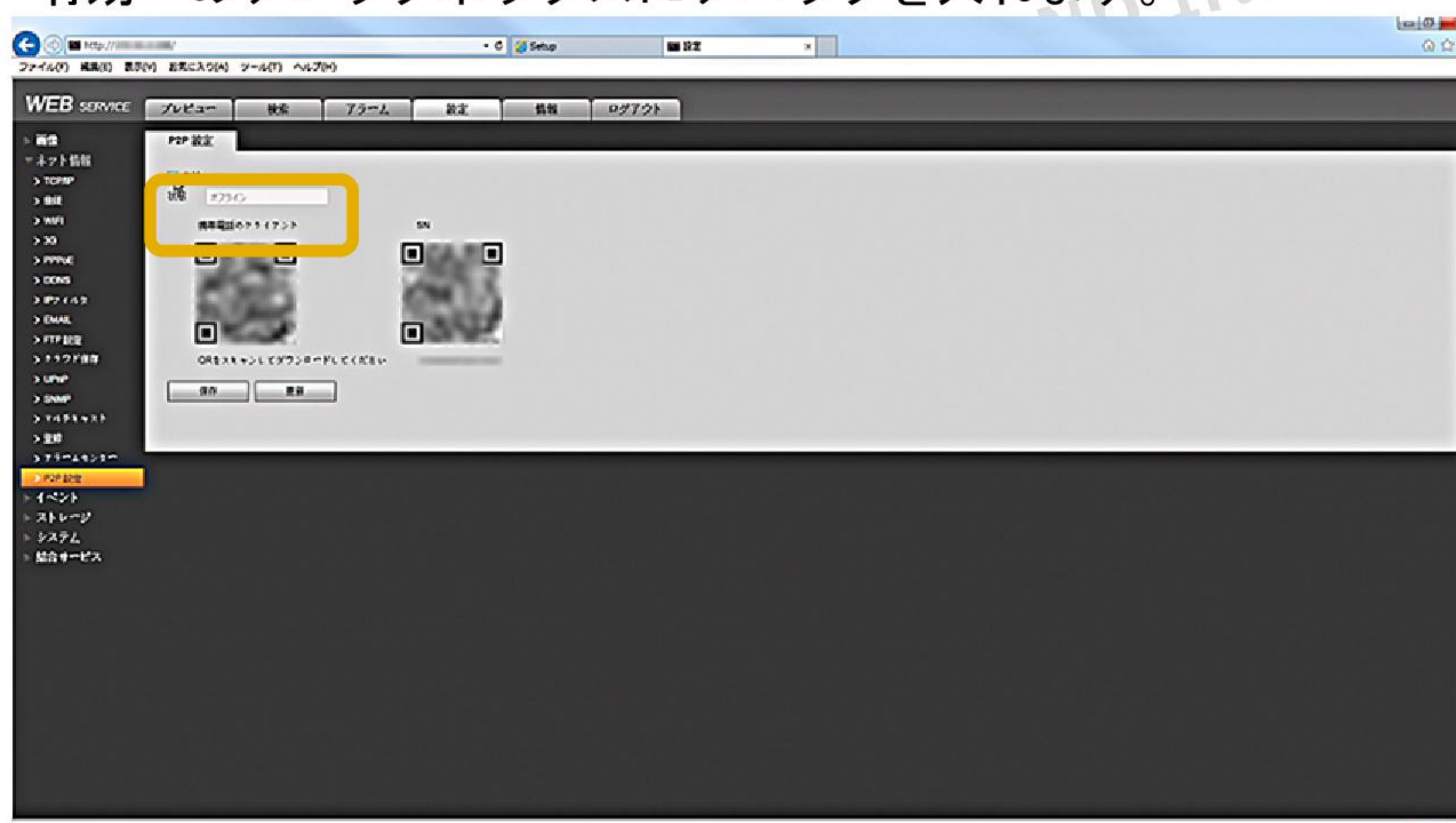
- ・ IE でレコーダーにログインした後、①『設定』タブをクリックします。
設定タブメニューで ②『ネット情報』をクリックし
③ “ネット情報” 中の『P2P 設定』をクリックします。



- ・ 機器のシリアルナンバーや QR コードが表示されます。
①P2P 登録には、機器の SN(シリアル番号)が必要です。
表示されている SN を、間違いないように記録します。
② “有効” のチェックボックスにチェックが入っているか確認します。
※チェックが入っていて、“状態” が “オンライン” 表示されている場合は以下の作業は不要です。
3. 2SmartPSS での P2P 登録、3. 3gDMSS での P2P 登録 にお進みください。

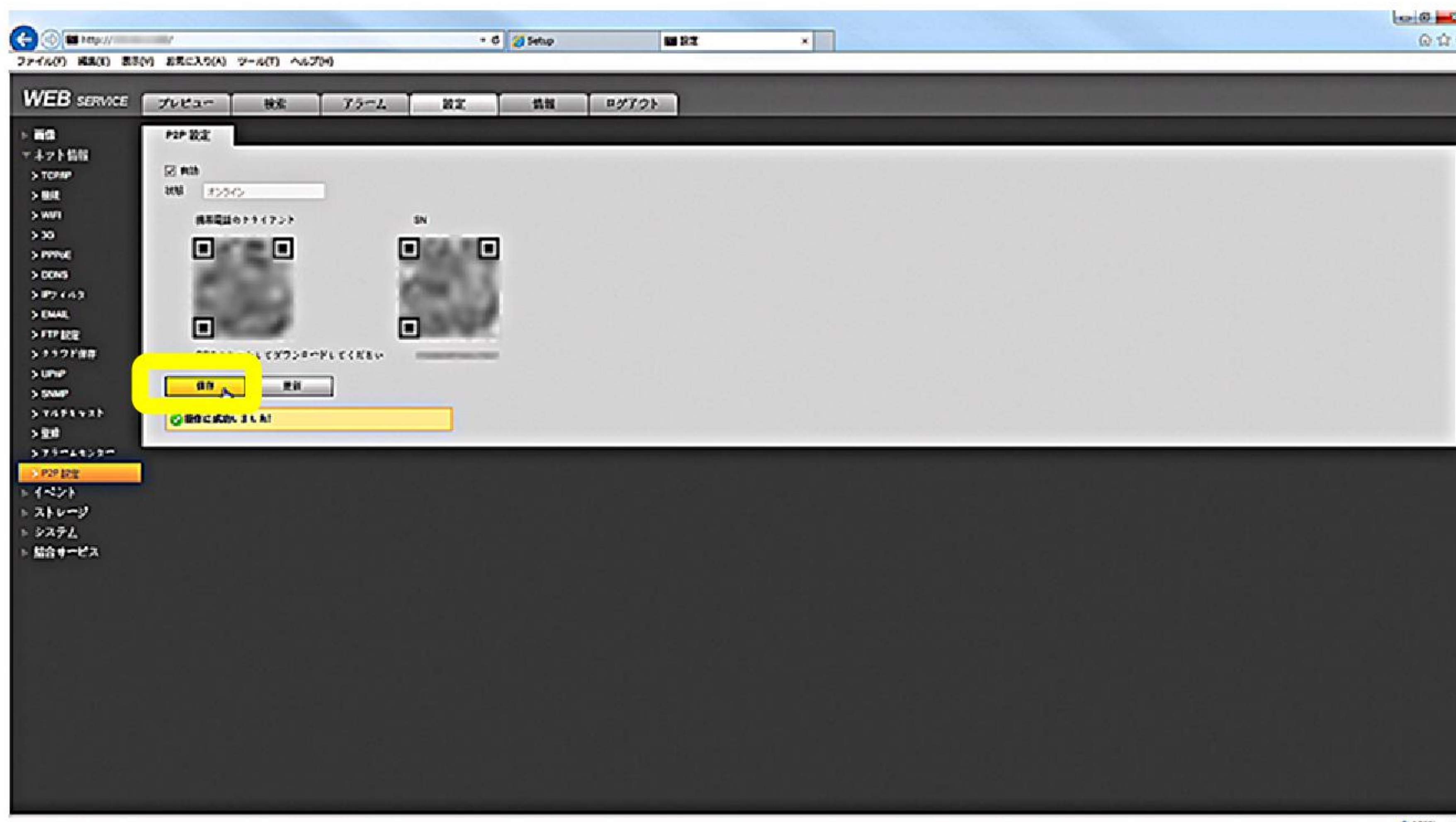


- ・ “有効” のチェックボックスにチェックを入れます。



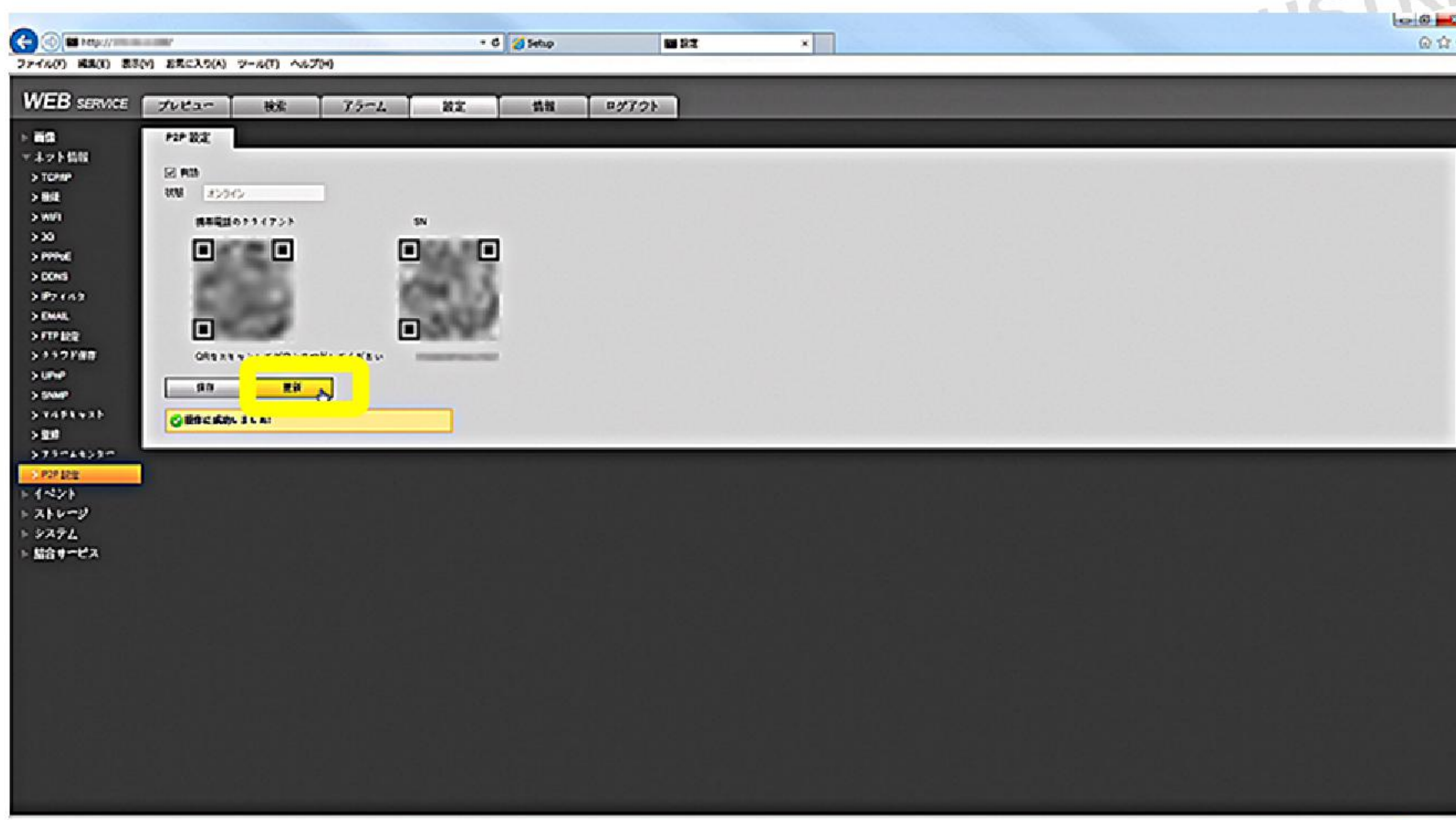
※チェックを入れても“状態”は“オフライン”表示のままです。

- ・『保存』をクリックします。
“操作に成功しました！”のメッセージが表示されます。



※保存をしても“状態”は“オフライン”表示のままです。

- ・『更新』をクリックします。
“操作に成功しました！”のメッセージが表示され
“状態”の表示が“オンライン”に変わります。



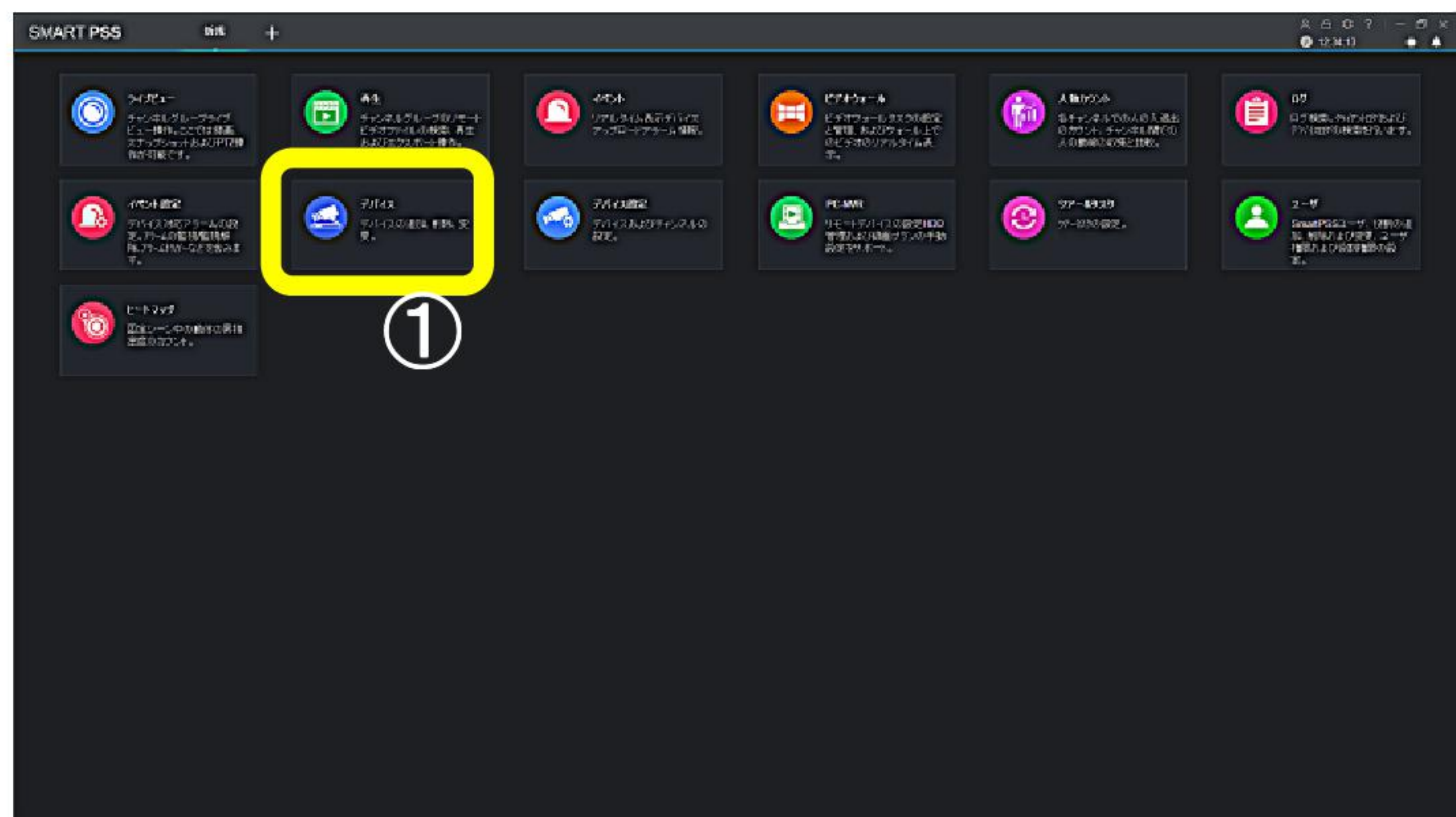
- ・“有効”のチェックボックスにチェックが入っていて、
“状態”が“オンライン”表示されていることを確認し、ログアウトします。

3.2. P2P 登録 : SmartPSS

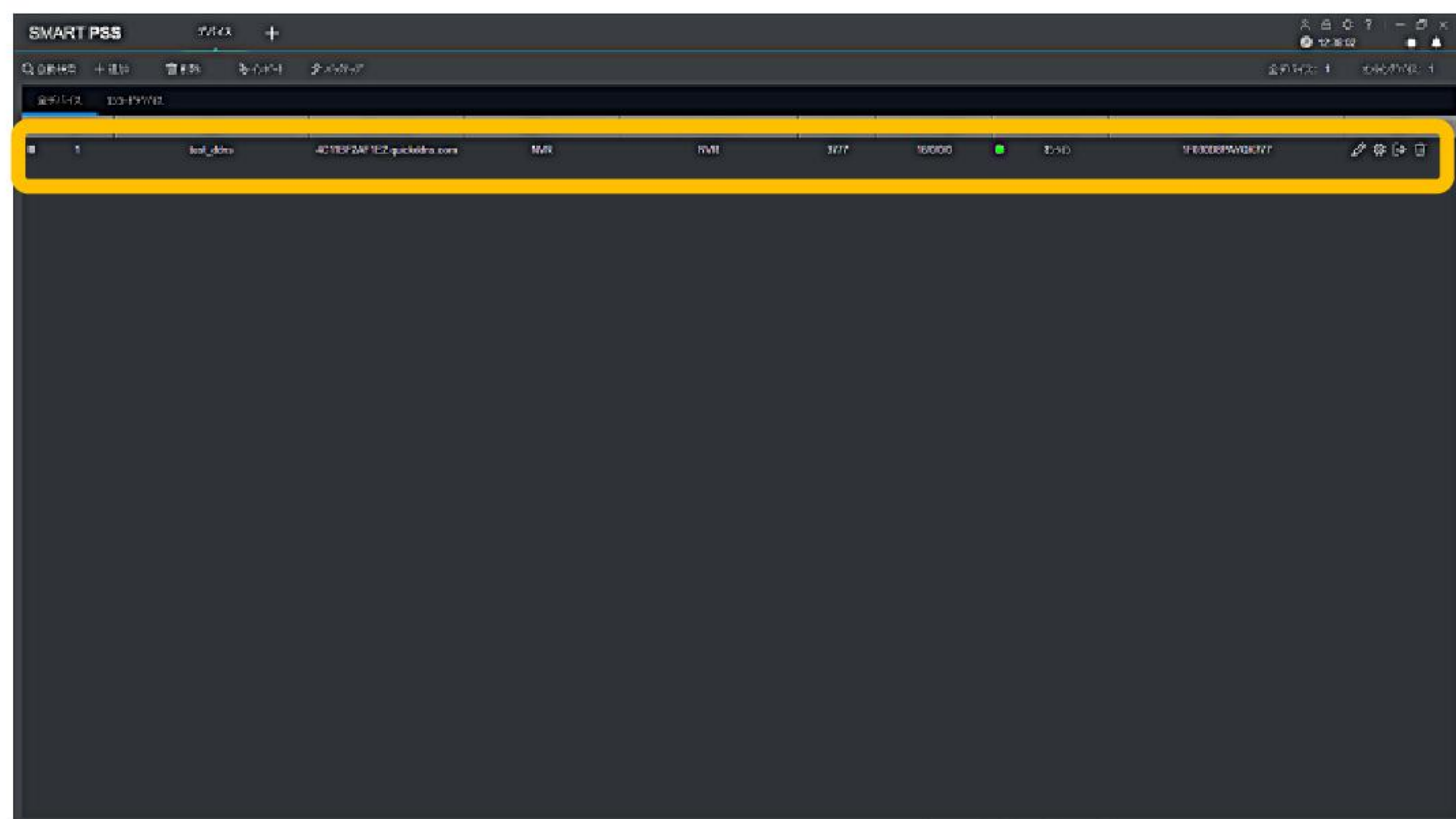
本項では、既に SmartPSS に DDNS 登録している機器を、P2P 登録する手順を記載します。

3.2.1. DDNS 登録機器の確認

- お使いの SmartPSS を立ち上げ、①『デバイス』をクリックします。



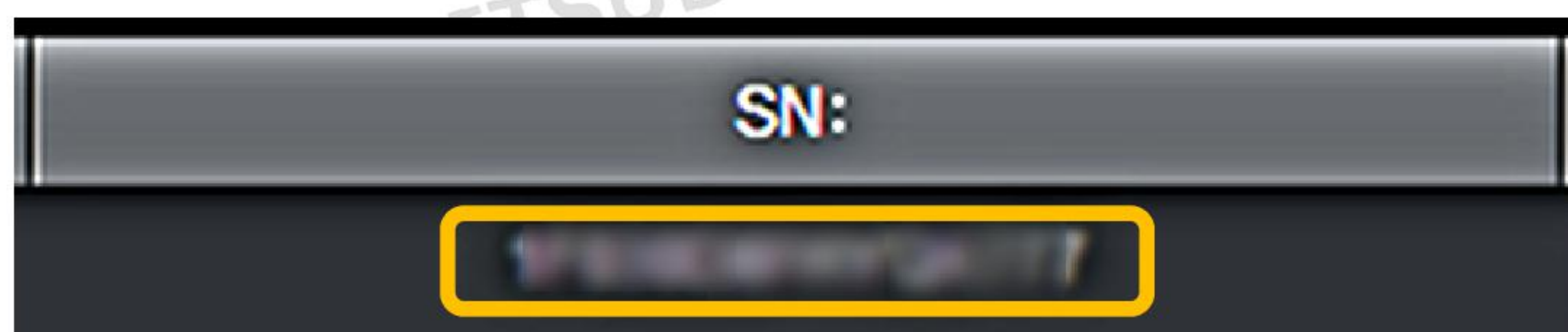
- 登録されているデバイスが表示されます。



IP ドメイン名が、****. quickddns. com, ****. dahuaddns. com などが DDNS 登録されたデバイスです。

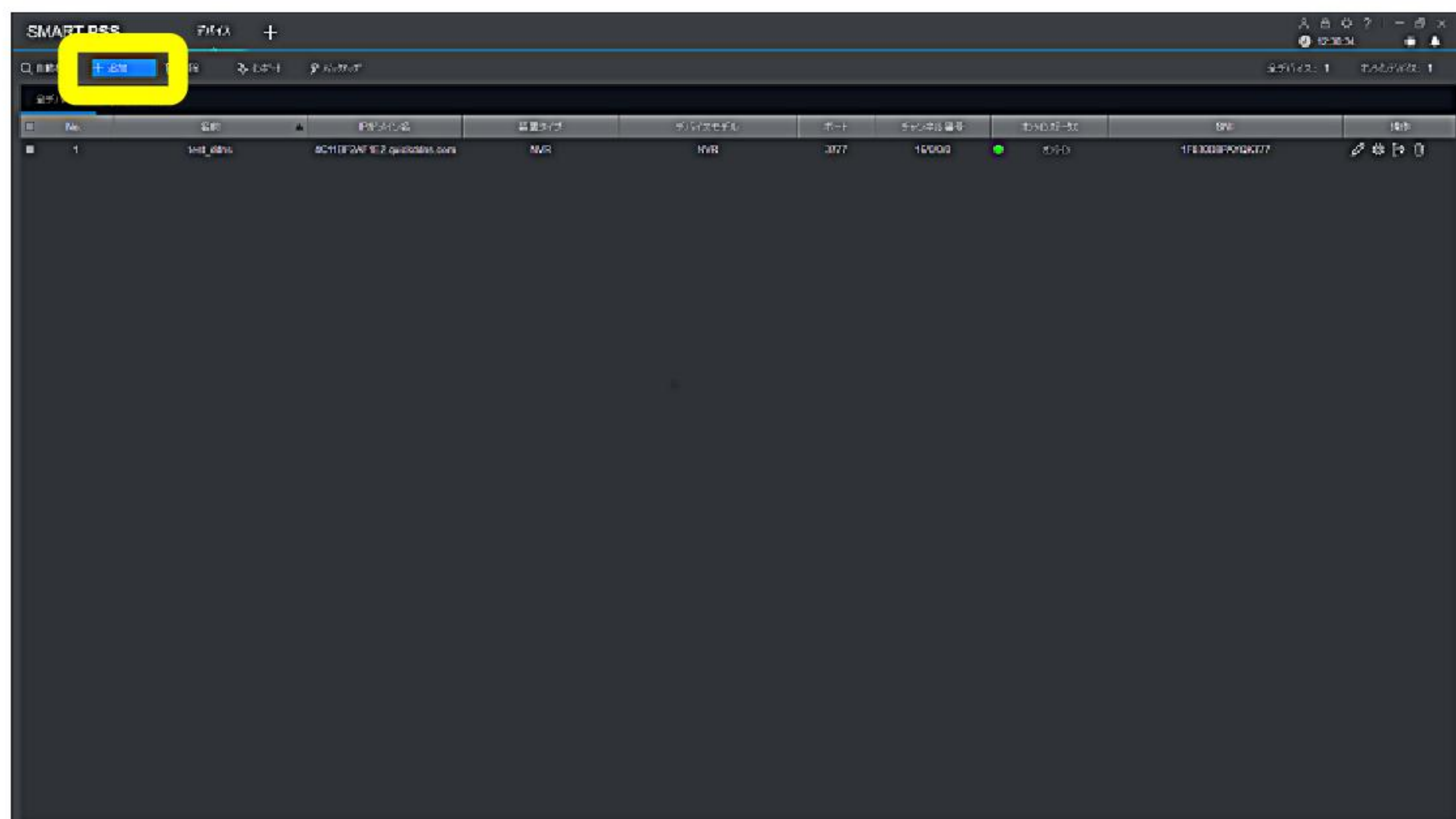


P2P 登録には、該当デバイスの SN(シリアル番号)が必要です。
表示されている SN を、間違いないように記録して下さい。



3.2.2. P2P サービスへの機器登録

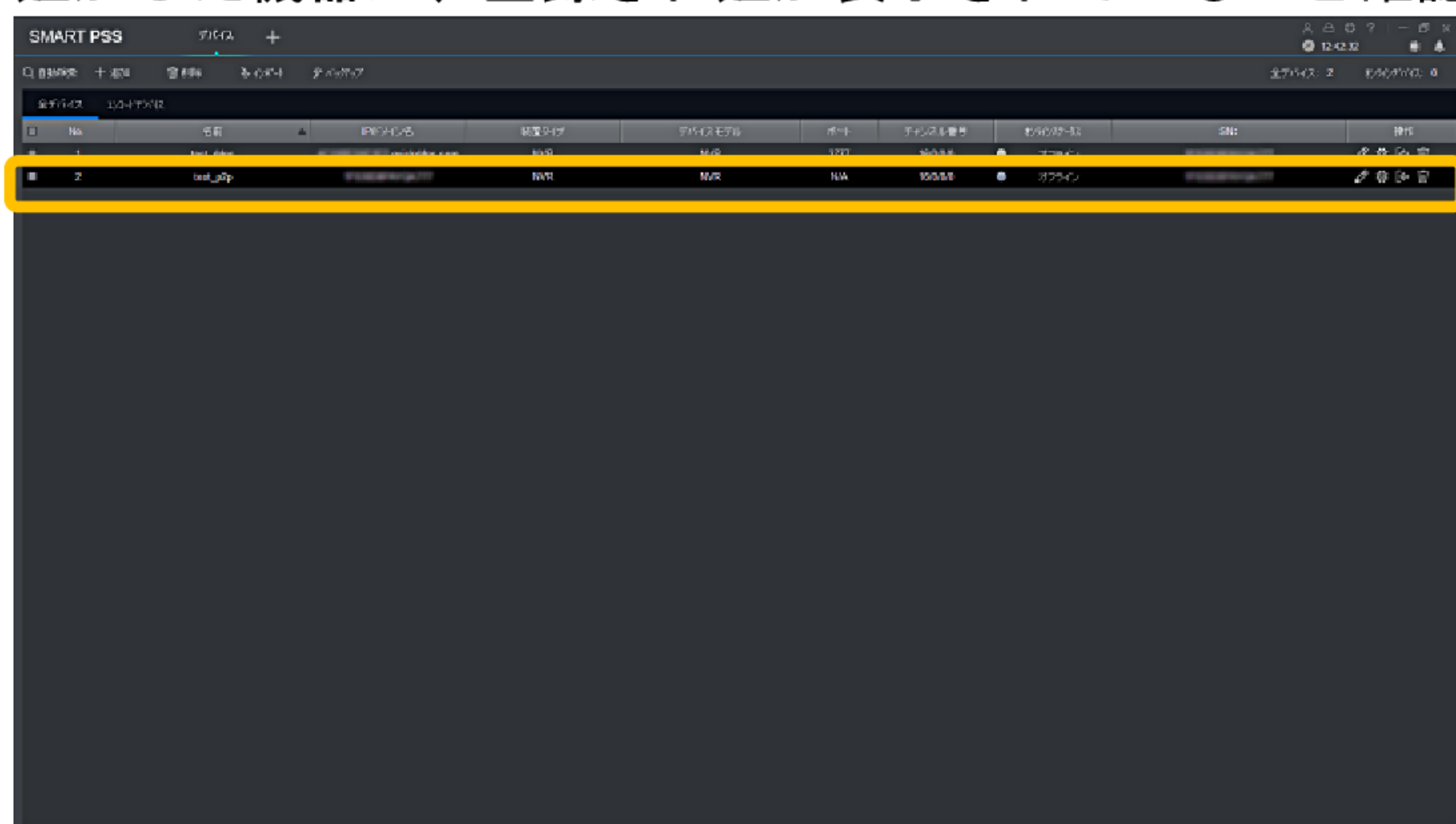
- ・ SN の確認が完了したら、『+追加』をクリックします。



- ・ “手動追加” のポップアップメニューが表示されます。
 - ① “デバイス名”を入力します。
 - ② “登録モード”は、プルダウンメニューから“SN (P2P 対応デバイス向け)”を選択します。

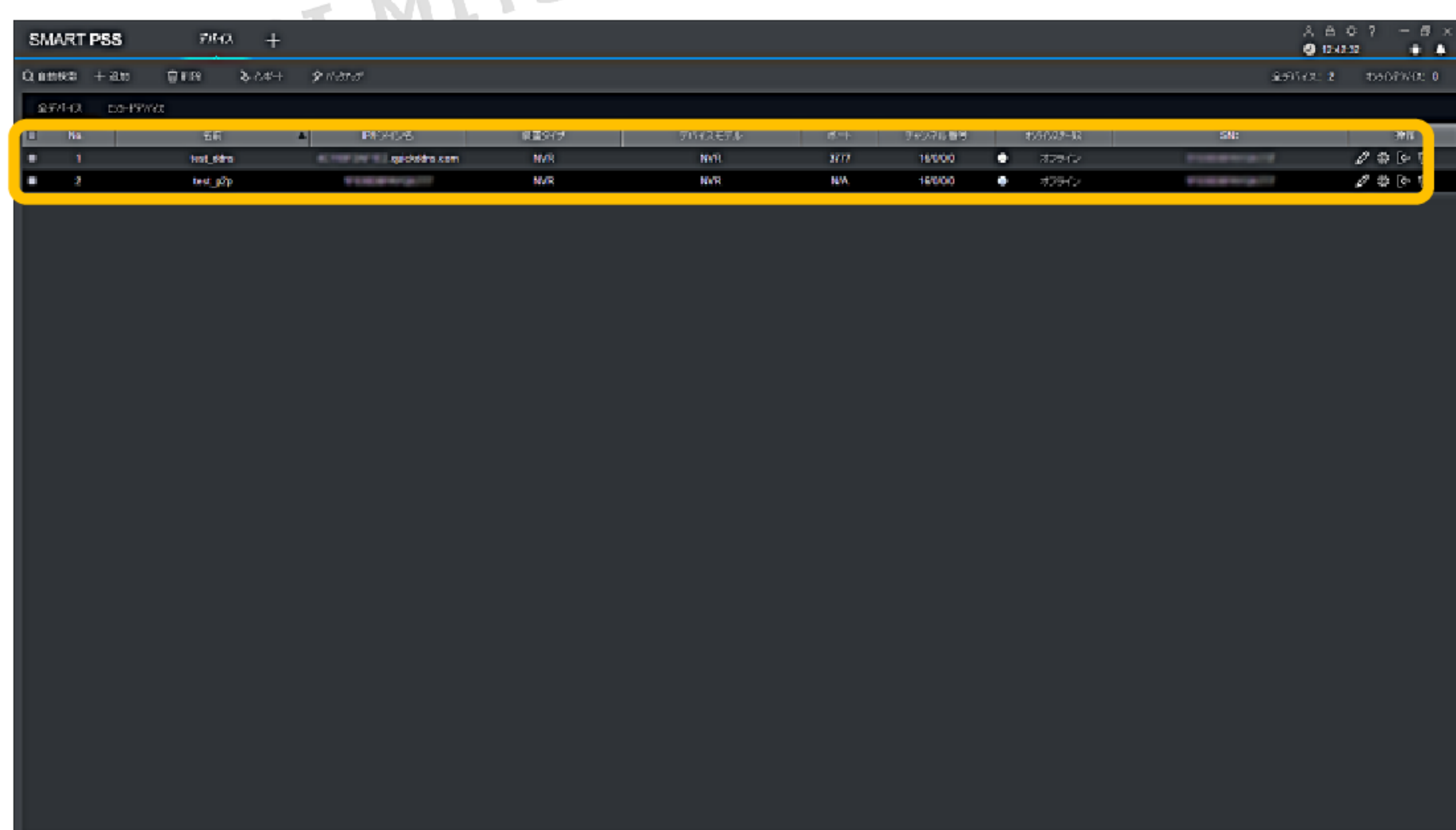
- ・ ① “SN” に 3.2.1 で記録した、登録したいデバイスの SN を入力します。
 - ② 機器に登録している “ユーザー名”、“パスワード”を入力します。
 - ③ 『追加』をクリックします。

- ・追加した機器が、登録され追加表示されていること確認して下さい。

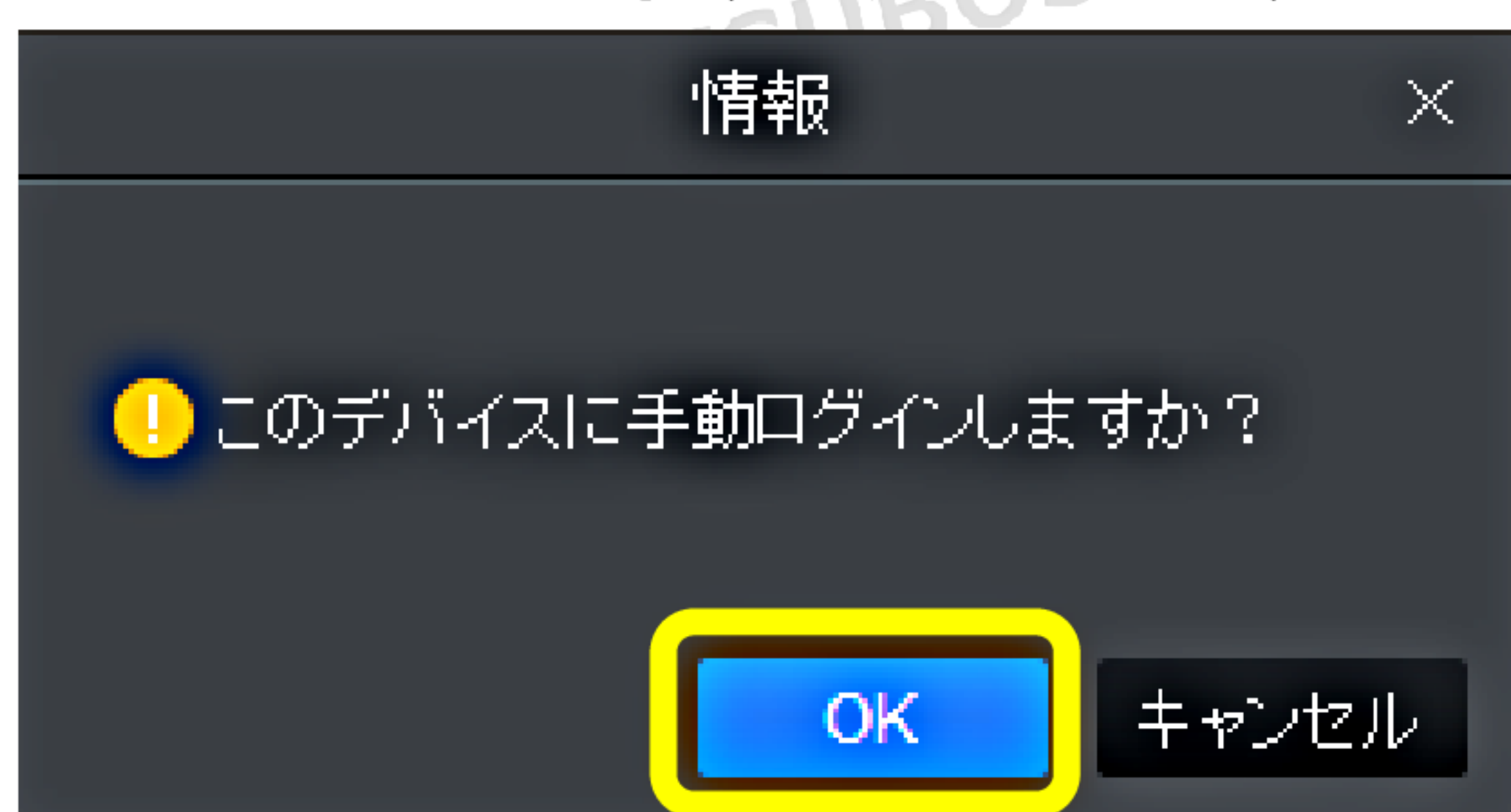


3.2.3. P2P サービスでの動作確認

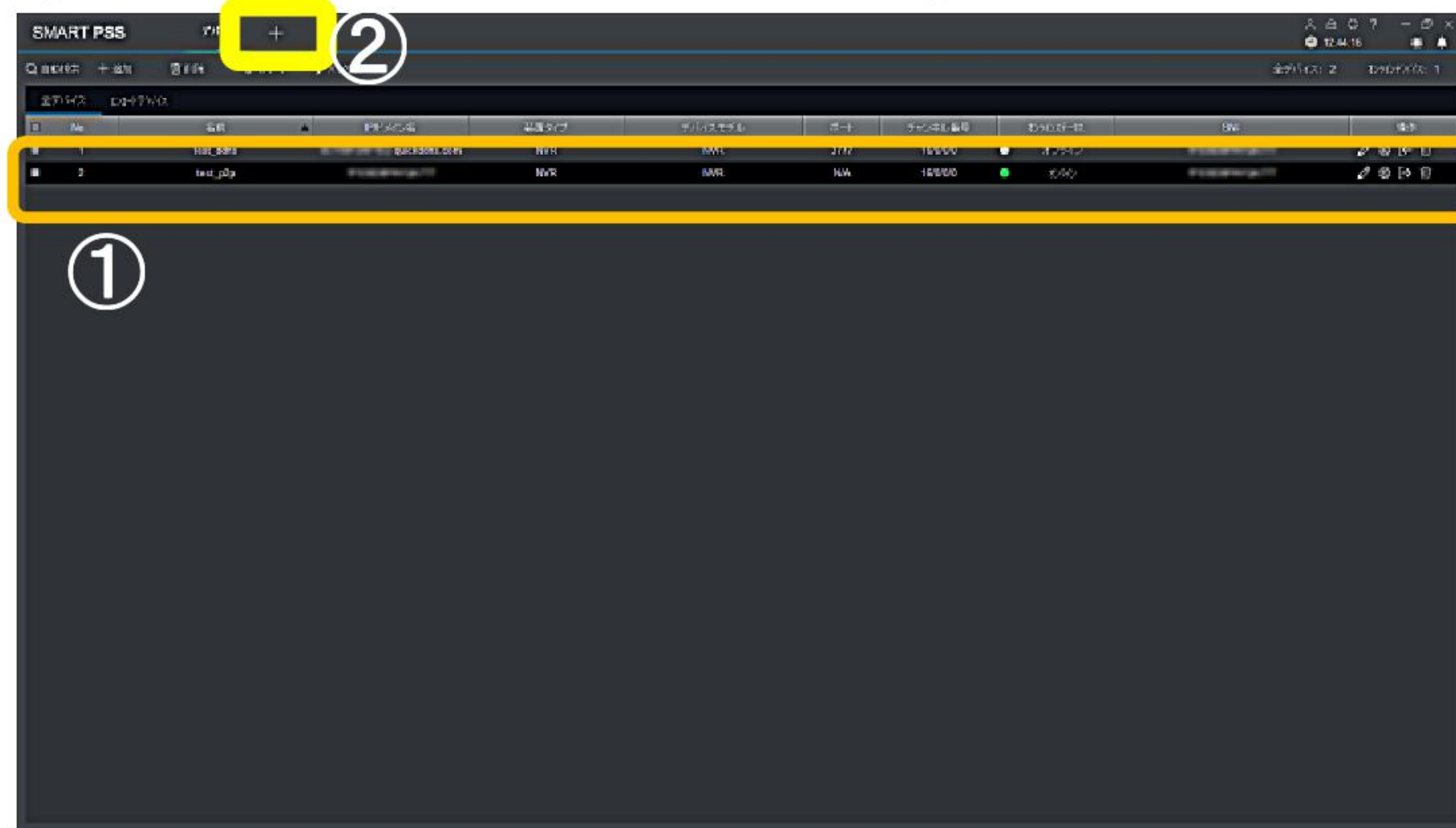
- ・ログインアイコンをクリックし、追加登録した機器にログインします。



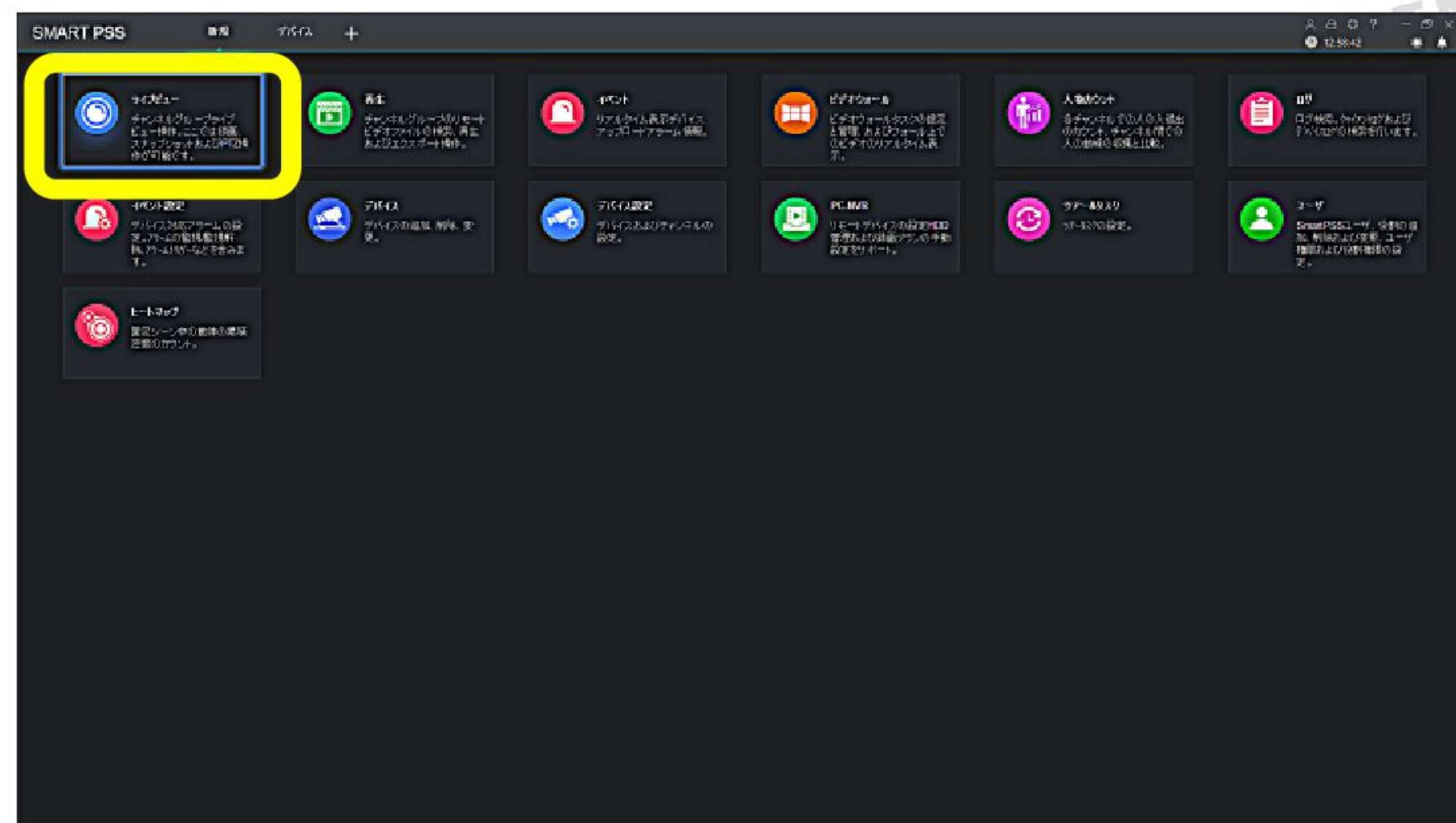
- ・“このデバイスに手動ログインしますか？”が表示されますので、『OK』をクリックします。



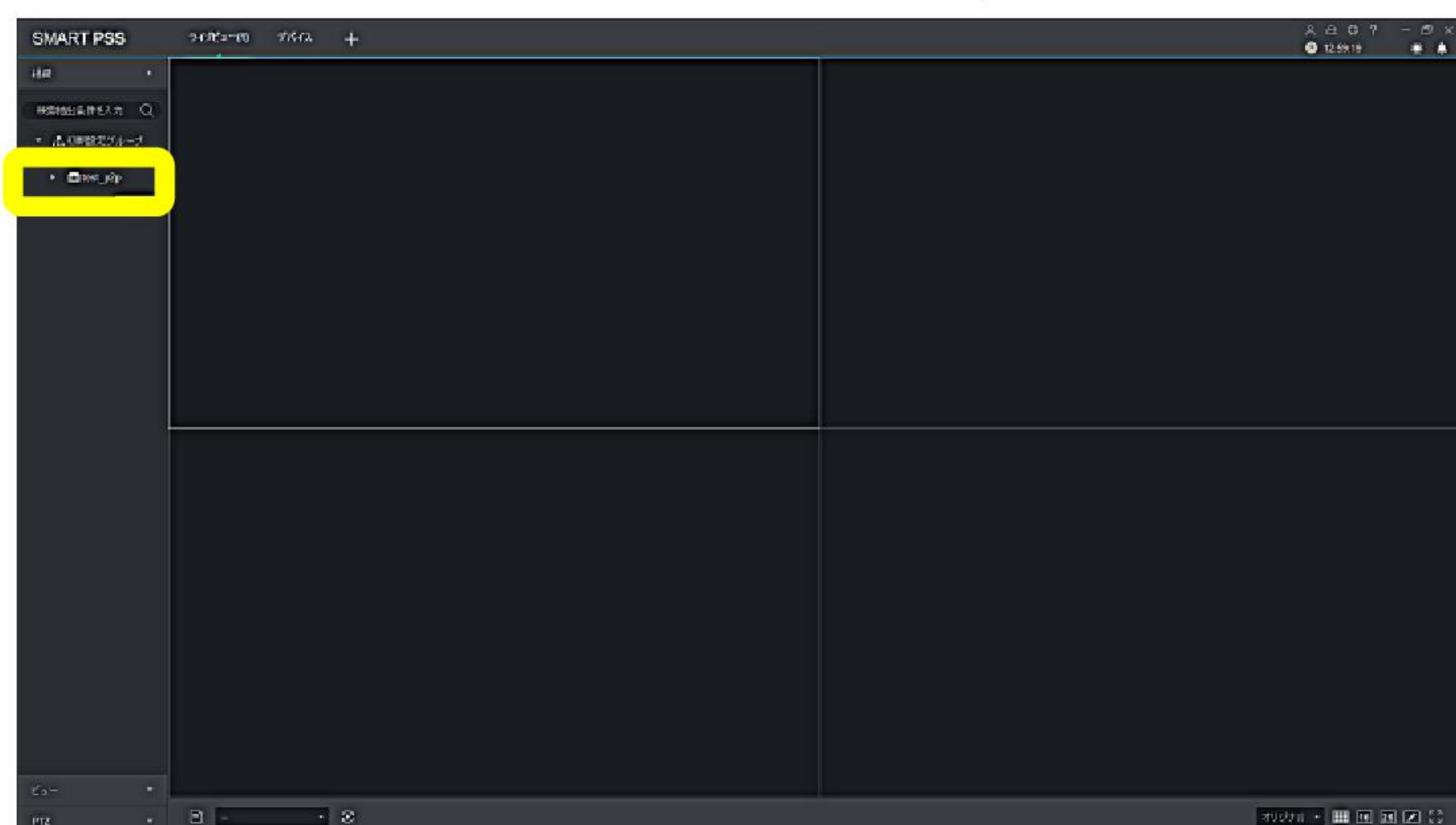
- ①ログイン出来たことを確認し、②『+』をクリックします。



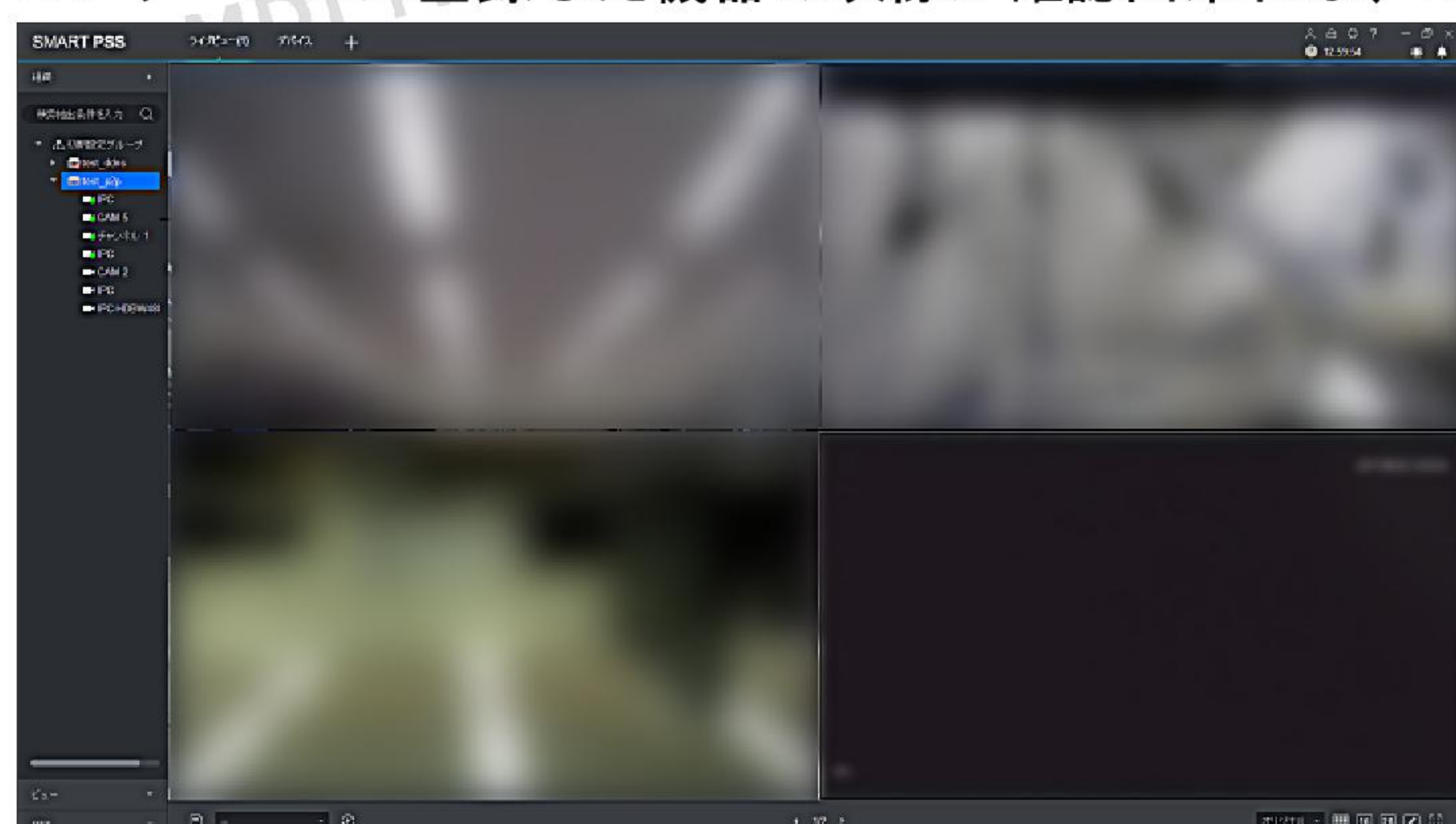
- 『ライブビュー』をクリックします。



- ライブビューを確認したい機器を選択します。




- P2P サービスに登録した機器の映像が確認出来れば、P2P 登録完了です。

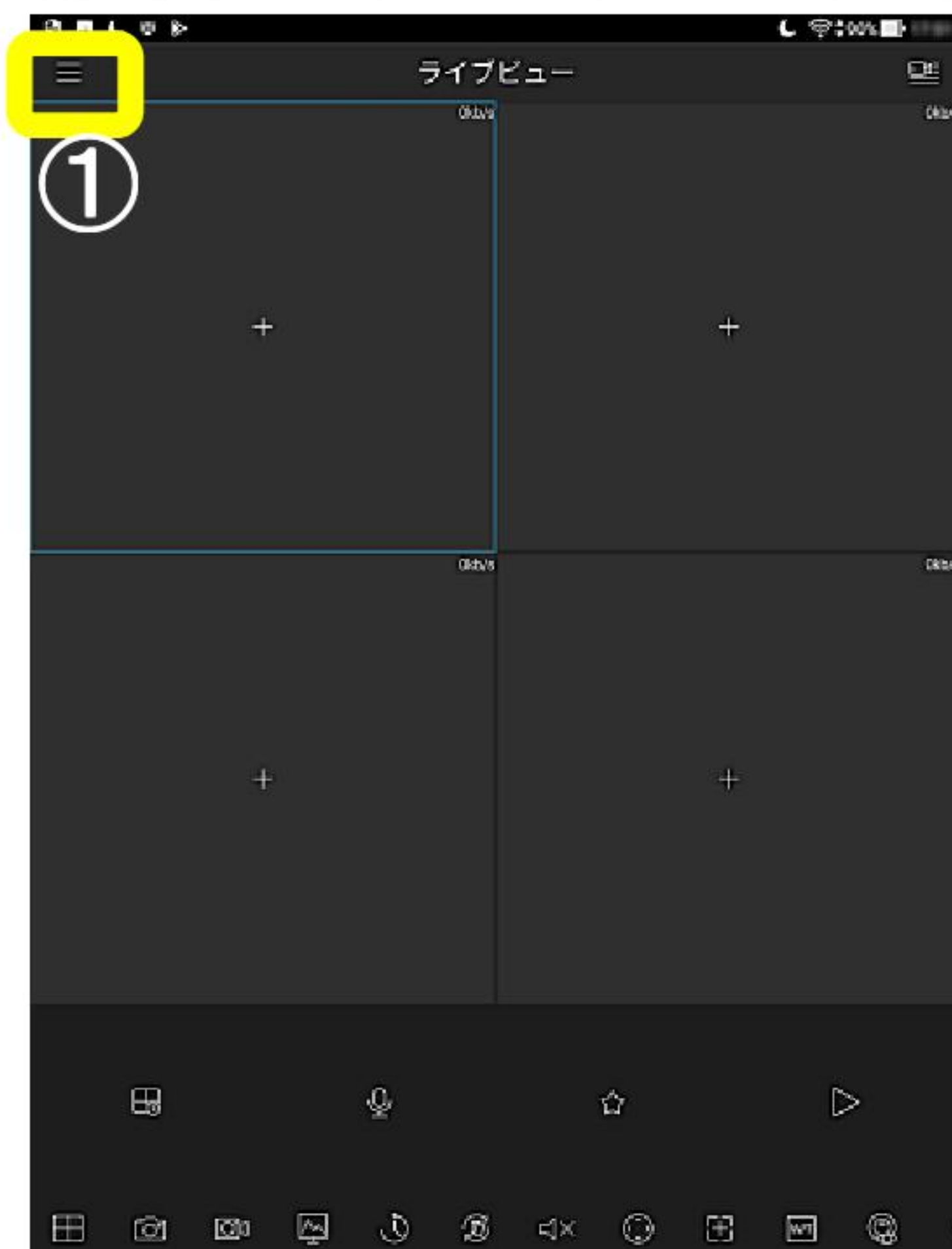



3.3. P2P 登録 : DMSS

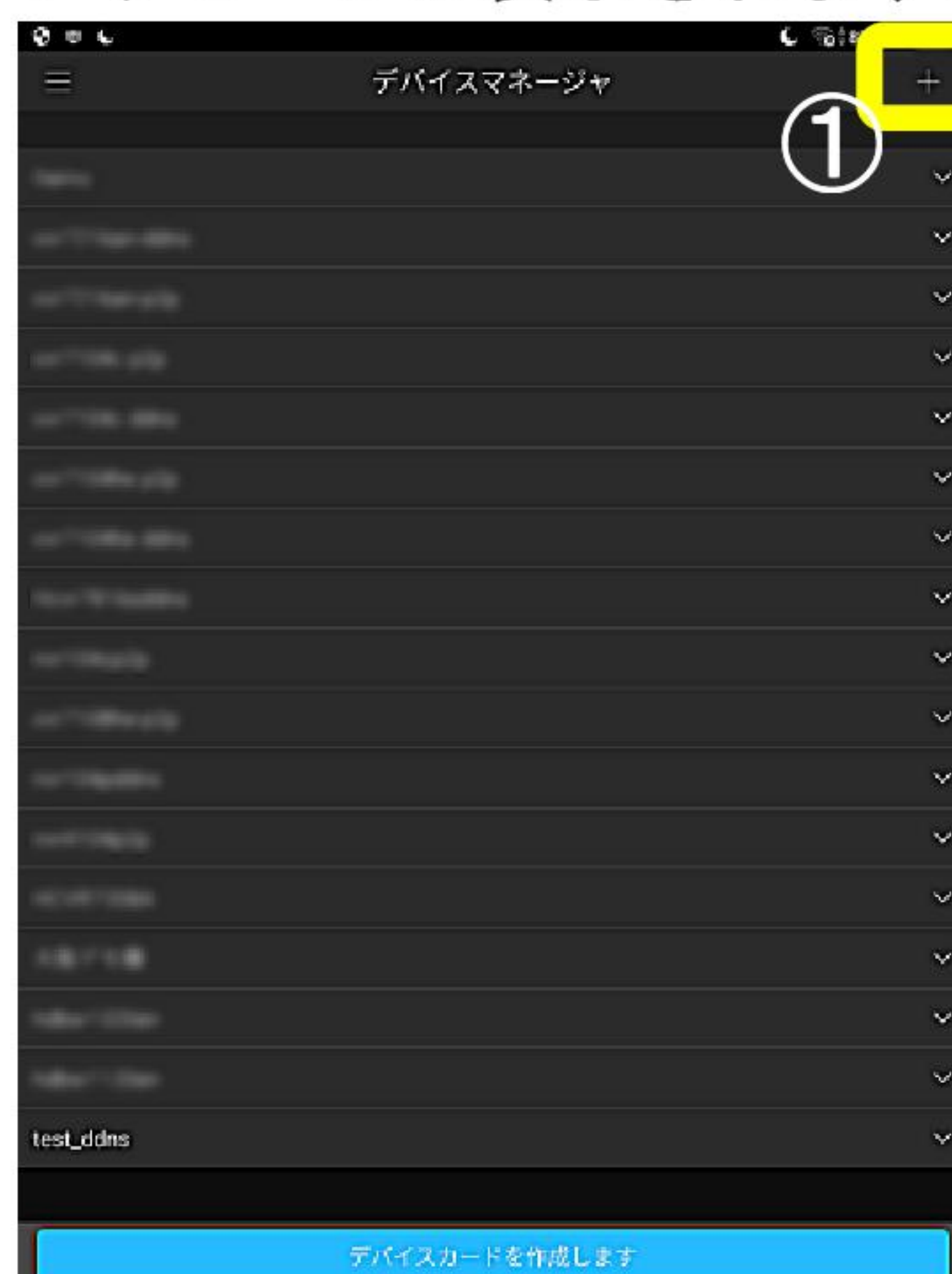
本項では、機器を、DMSS に P2P 登録する手順を記載します。

3.3.1. P2P サービスへの機器登録

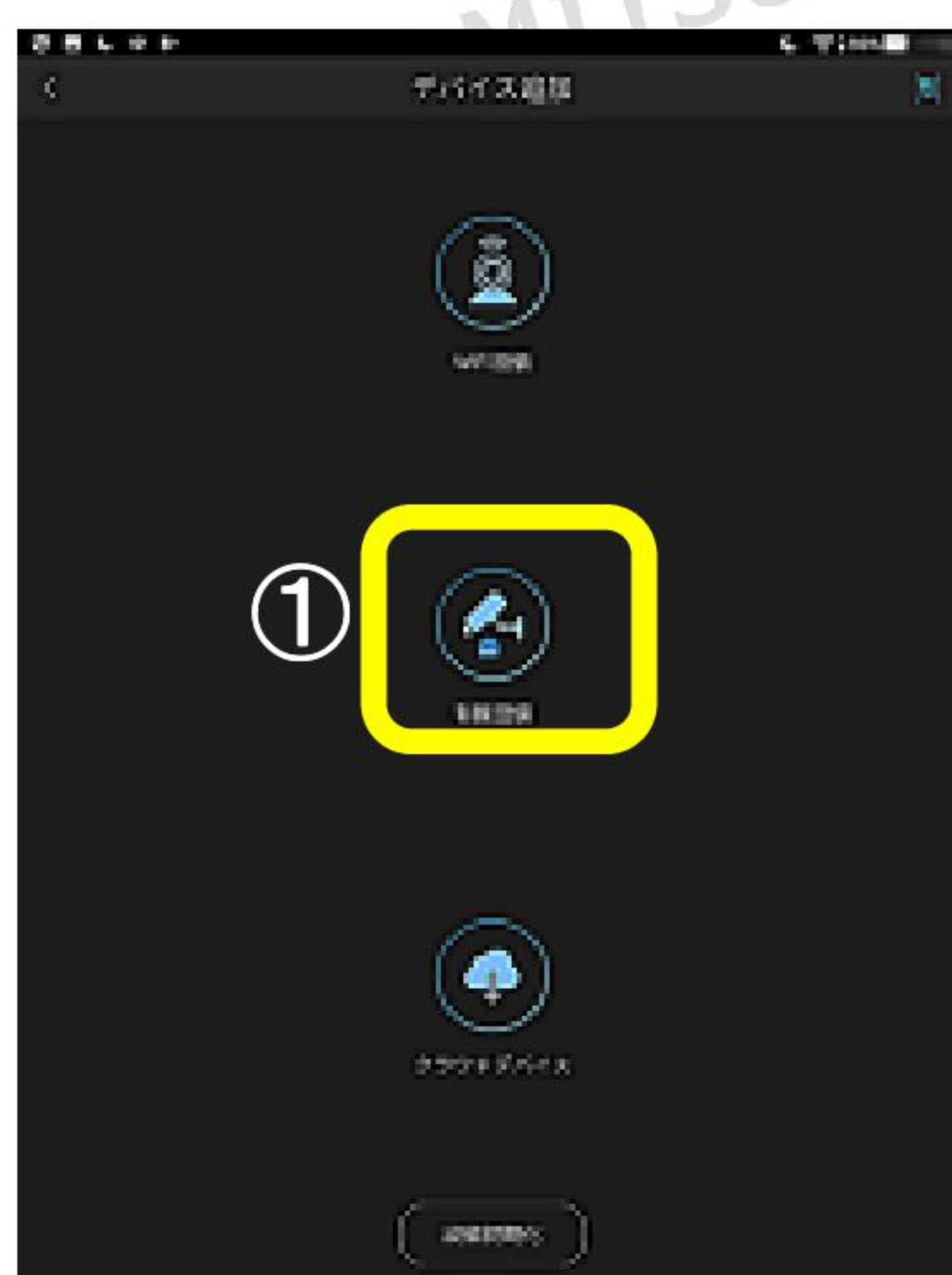
- ・ DMSS を立ち上げ、ライブビュー画面で、左上の①をタップします。
- ②『デバイスマネージャー』をタップします。



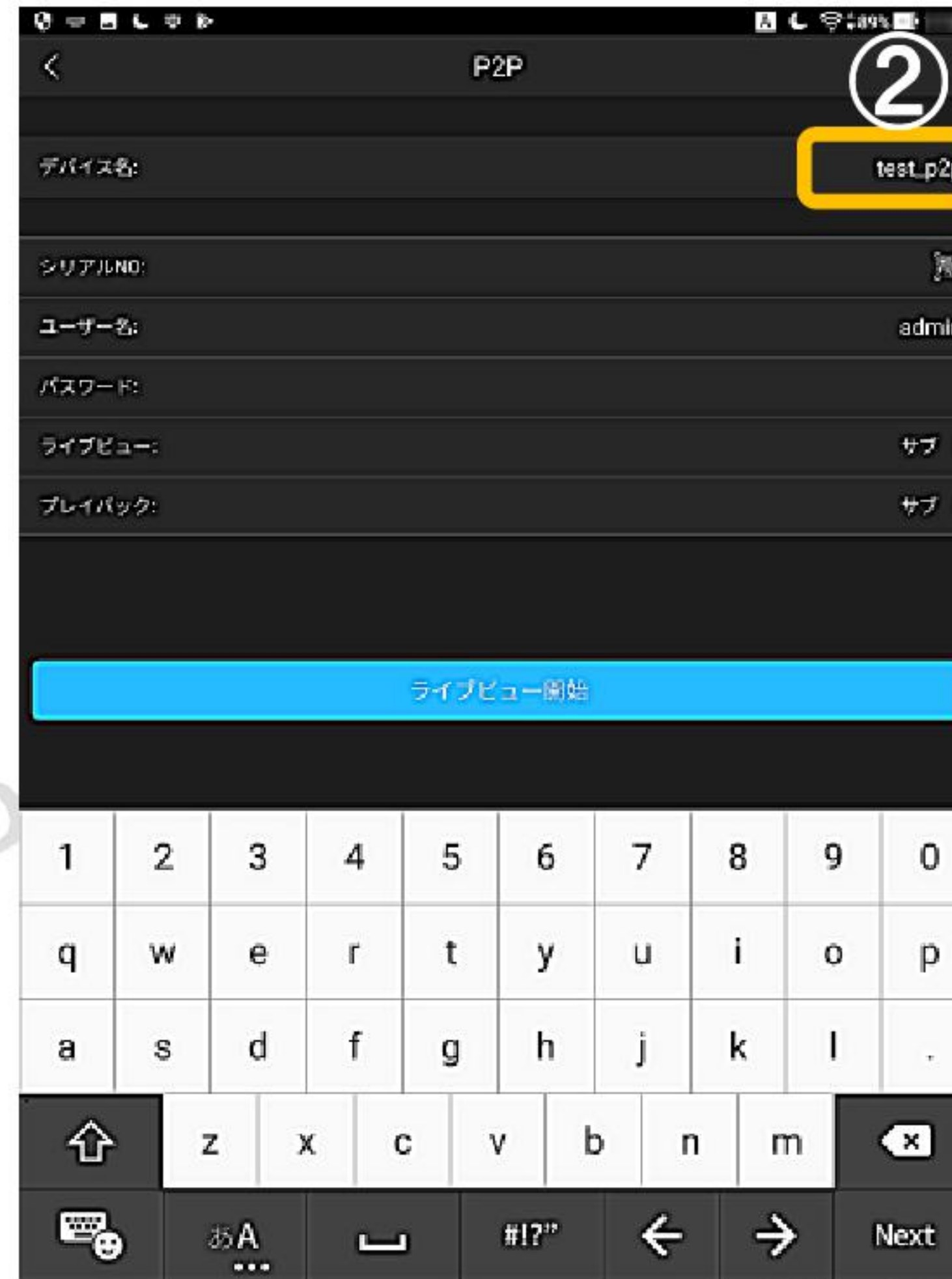
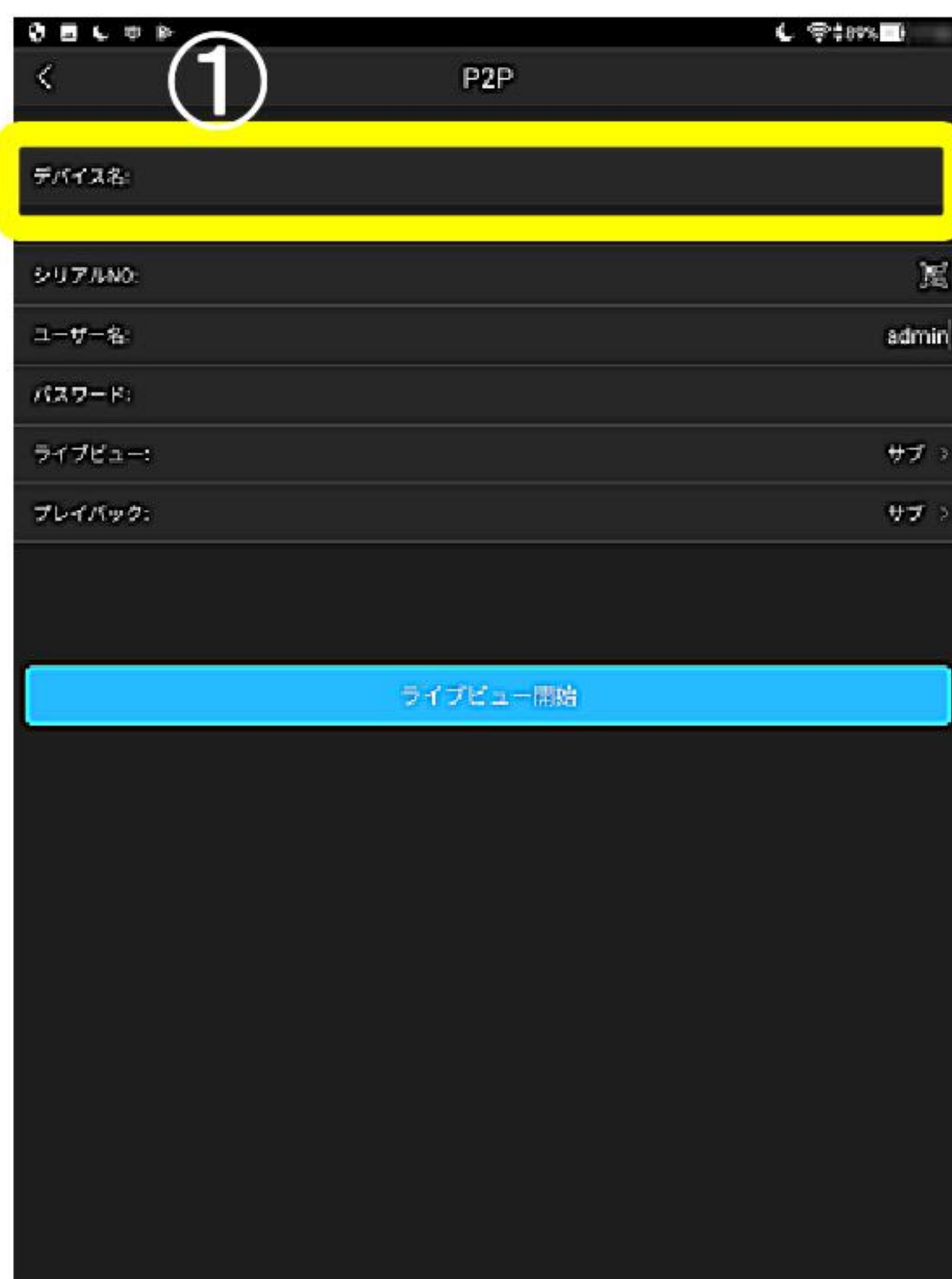
- ・ 登録されている機器の一覧が表示されます。右上の①をタップします。
メッセージが表示されますので、②『確認』をタップします。



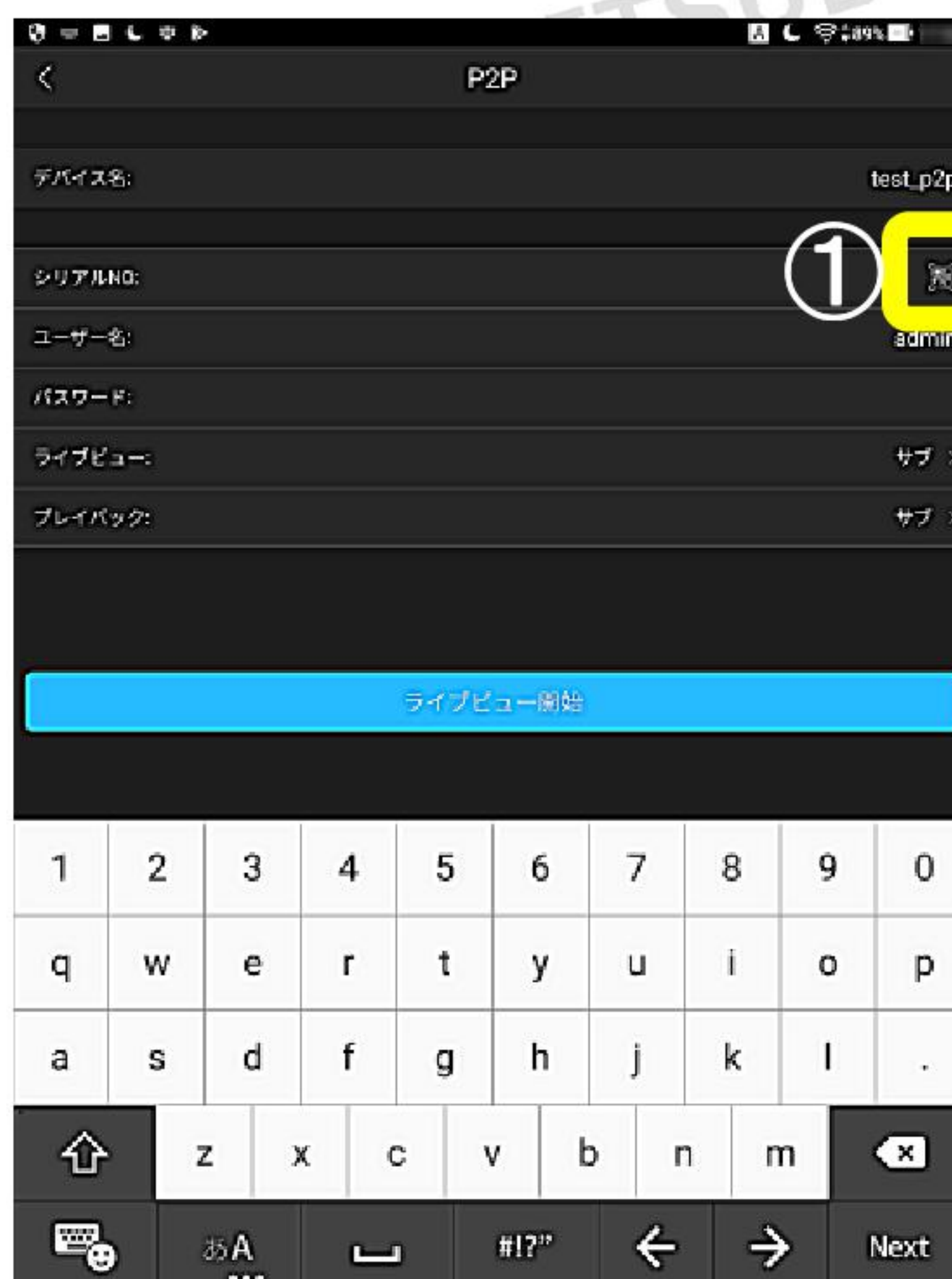
- ・ ①『有線設備』をタップします。
追加方式の選択画面で②『P2P』をタップします。



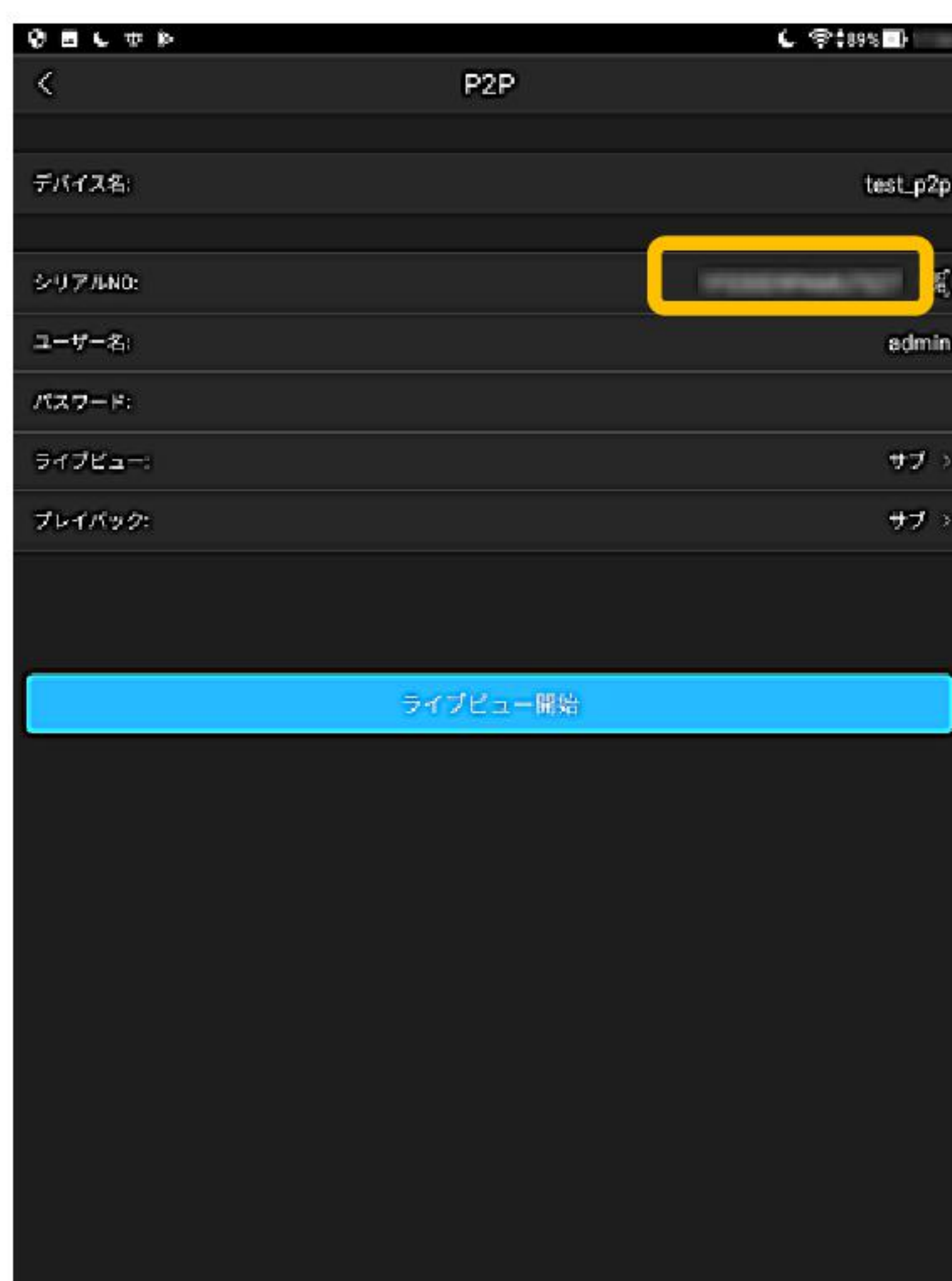
- ・①『デバイス』をタップし、②登録する機器の名称を入力します。



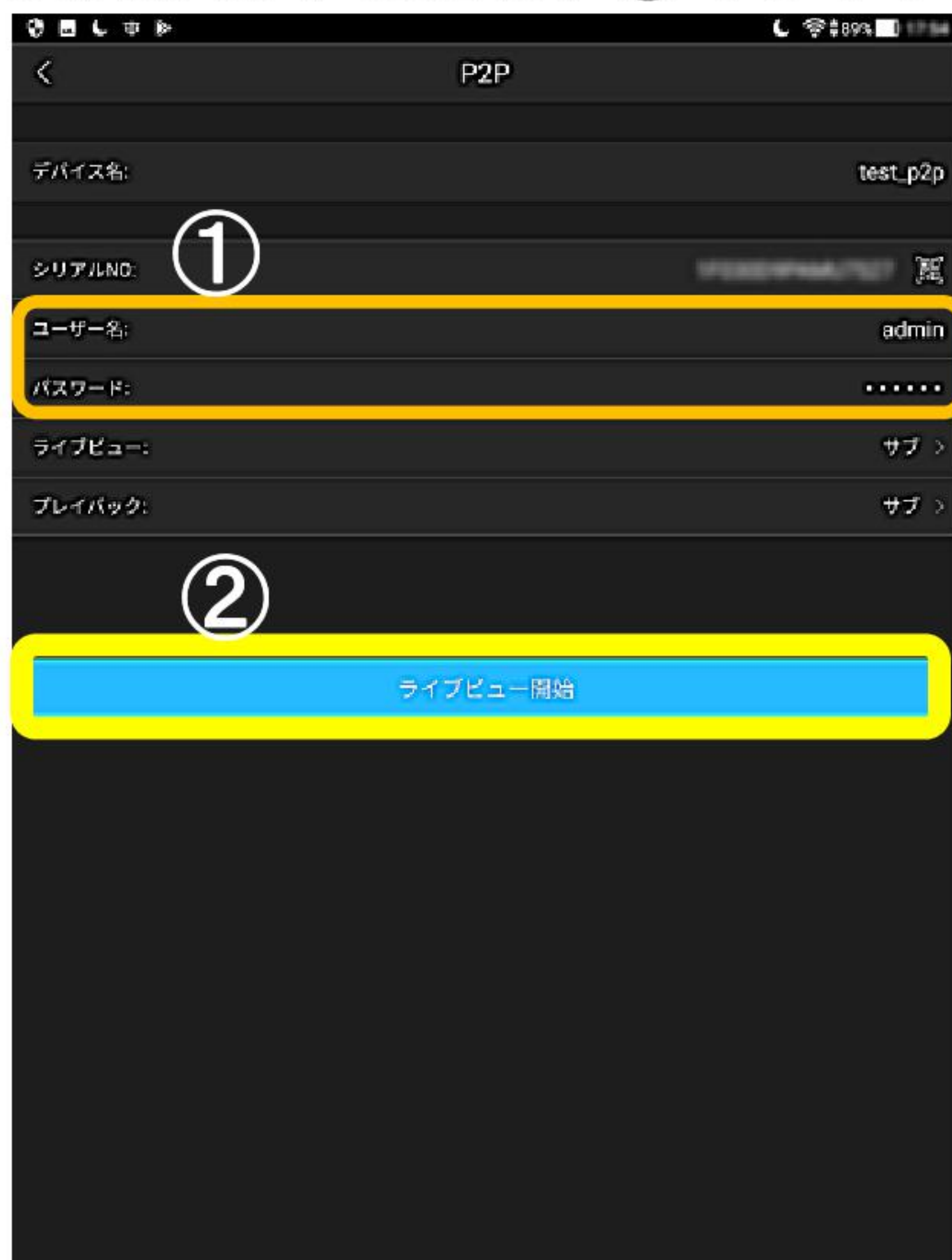
- ・①『シリアル No.』の欄右端の をタップします。 QR コードスキャナーが起動しますので②3.1で確認したシリアル No. の QR コードにかざして、QR コードをスキャンします。



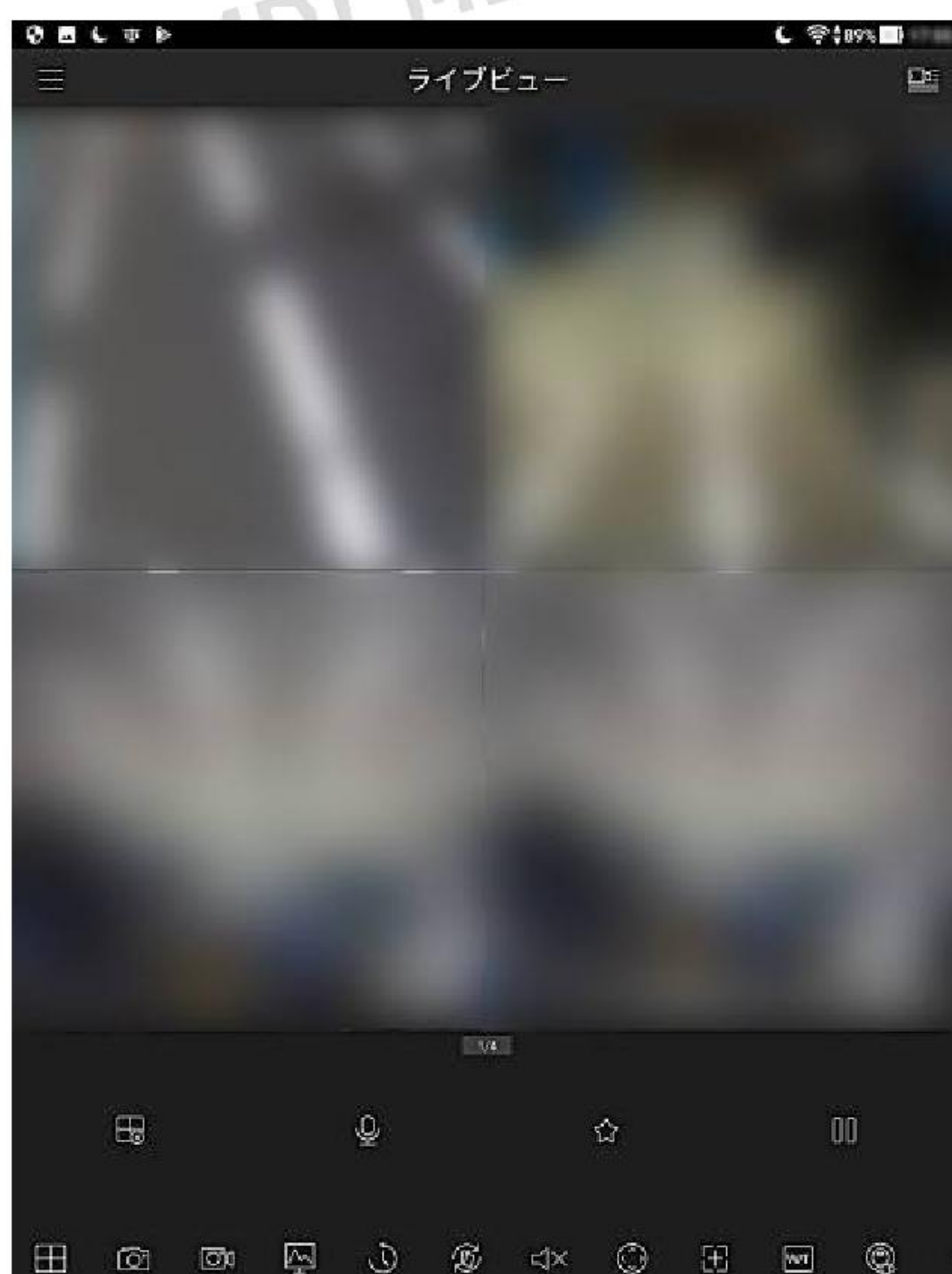
- ・QR コードのスキャンが完了すると、シリアル No. が自動で登録されます。
※3.1で記録したシリアル No. を直接入力しても登録は可能です。



- ・ ①機器にログインするための“ユーザー名”と“パスワード”を入力します。
入力が完了したら、②『ライブビュー開始』をクリックします。



- ・ ライブ映像が確認できれば P2P 登録完了です。



以上